

公益社団法人 おおさき青年会議所

2019年度 J Cの輪拡大委員会

委員長 菅原 直哉

1. 基本方針

近年、青年会議所の会員数は全国的に減少傾向にあり、おおさき青年会議所も例外ではありません。しかしながら、全国のLOMを見ると会員拡大活動に成功しているLOMがあるのも事実です。会員は青年会議所運動の源と考えるならば、同じ志を持つ会員が多ければ多いほど、青年会議所の運動もより効果的なものになると考えます。本年度は全会員が会員拡大の重要性を改めて共有し、持続可能な会員拡大活動手法を確立する必要があります。

まずは、会員拡大の重要性を改めて共有するために、成功事例を通じて、会員拡大がLOMへ与えるImpactを学び、会員拡大への意識を高め、会員一人ひとりに未来のおおさき青年会議所に対する責任の自覚を促します。

そして、地域を先導する青年会議所として、持続可能な会員拡大活動手法を確立するために、検証を行い、可能性を模索し、探求する機会を設けることで、会員拡大活動の基礎を再構築し、より効率的な会員拡大活動が持続可能となります。

さらに、新入会員にJAYCEEとしての成長を促すために、新入会員研修を行い、JCの基本や基礎を身に付けてもらいます。

また、JCの輪を拓げるために、同じ志を持つ新たな仲間との交流を通して、親睦を図り、友情を育みます。

そして、対内外にJCの輪を拓げていくために、青年会議所の魅力が伝わる積極的な広報活動を展開し、青年会議所のファンを増やしていきます。

我々は一年間を通し、同じ志を持つ仲間を多く募り友情の輪を拓げるとともに、魅力を伝え、地域と我々をつなぐ輪もより大きく拓げることで、おおさき青年会議所の未来に対する責任を自覚し、同じ志を持つ多くの新たな仲間とともに、持続可能な会員拡大を実現します。

2. 事業計画

(1) 会員拡大活動の推進

【目的】

会員候補者情報の共有

【手段・方法】

会員拡大活動の推進

(2) 会員拡大の重要性の共有

【目的】

会員拡大の重要性の共有

【手段・方法】

成功事例を通じて、会員拡大がLOMに与えるImpactを学ぶ事業の実施

(3) 持続可能な会員拡大の探究する事業の実施

【目的】

持続可能な会員拡大活動手法の確立

【手段・方法】

会員拡大活動の検証を行い、可能性を模索し、探求する事業の実施

(4) 友情を育む事業の実施

【目的】

交流の輪を拡げる

【手段・方法】

同じ志を持つ新たな仲間との交流を通して、親睦を図り友情を育む事業の実施

(5) 新入会員研修の実施

【目的】

新入会員にJAYCEEとしての成長を促す

【手段・方法】

新入会員研修の実施

(6) 対内外への広報活動

【目的】

対内外に対し、J Cの輪を広げる

【手段・方法】

各広報ツールを利用し、青年会議所の魅力が伝わる積極的な広報活動を展開する

(7) 入会案内のデータ作成（2020年度版）

【目的】

当青年会議所の魅力を伝えられる会員拡大のアプローチツールを作成する

【手段・方法】

当青年会議所の運動・活動・魅力を分かり易く掲載する

(8) 花火大会実行委員会への参画

【目的】

おおさき花火大会の円滑な運営

【手段・方法】

おおさき花火大会実行委員会に参画する

(9) 会員拡大活動への参画

【目的】

会員を12名以上増やす

【手段・方法】

- ①会員拡大担当者の選出
- ②会員候補者の情報収集と報告

(10) 例会主管 (1月、4月、5月)

【目 的】

- ① 会員拡大の重要性の共有
- ② 持続可能な会員拡大活動手法の確立
- ③ 友情の輪を拡げる

【手段・方法】

- ① 成功事例を通じて、会員拡大がLOMに与える Impact を学ぶ
- ② 会員拡大活動の検証を行い、可能性を模索し、探求する
- ③ 同じ志を持つ新たな仲間との交流を通して、親睦を図り友情を育む